

社会科学学習指導案

日 時 平成17年10月26日(水)5校時
児 童 釜石市立釜石小学校 6年1組
男子15名 女子10名 計25名
指導者 教諭 山田 豪 毅
場 所 6年1組教室

- 1 単元名 戦争から平和への歩みを見直そう
中単元名 1 戦争と人々の暮らし

2 単元設定の理由

(1) 教材観

第6学年の目標は、「社会的事象を具体的に調査し 地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てるようにする。」とある。また、内容(1)のウには、「日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。」とある。

本中単元にかかわっては、日本の戦争がアジア・太平洋に広がっていく経過や社会の様子や人々の暮らし、他国との関係がどのように変化していったかを調べ国内外の被害の状況について理解することができるようにすることをねらいとしている。

指導にあたっては、我が国と中国との戦いが全面化したことを取り上げて調べ我が国が戦時体制に移行したことが分かるようにしたい。また、我が国がアジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたことを取り上げて調べる中で、国民が大きな被害を受けたことが分かるようにしていきたい。さらに、これらの戦争において、我が国は、中国をはじめとする諸国に大きな被害を与えたことについて考えさせたい。そして「二度と戦争をしてはいけない」という平和への願いをしっかりと抱かせたい。

(2) 児童観

6年生から始まった歴史学習では、人物や建造物、その時代背景に興味をもって調べ、多くの子どもが歴史の授業にとっても関心を持って臨んでいる。また、学級文庫として置いてある歴史関係の本や学習マンガも喜んで読み、日常生活の中に歴史へ親しむ姿が見られる。

授業では、自分で調べる活動を位置づけている。教科書や資料集の使い方、ノートのとめ方を指導する中で、絵や写真、年表等の資料をもとに、当時の人々の生活や社会の様子を想像しながら、意欲的に調べ学習を進める姿が見られるようになってきた。

ただ、覚えなければならないことがなかなか定着しない児童や、人物の働きや歴史的事象について歴史につながりや関連性をもとに考えること、資料から読み取ったことを文章で表すことや資料をもとに発表することが苦手な児童が見られる。

本単元を学習するにあたり、子どもたちが、少しでも戦争を身近に引き寄せて考えたりとらえることができるよう 演劇「銃口」や釜石艦砲射撃に関わるコーラス「翳った太陽」の鑑賞、原爆と戦争展の見学を実施した。その中で、子どもたちは、戦争について一人一人が思いを抱くことができている。

(3) 指導観

調べ学習を進めるにあたり、その資料として一番調べやすく分かりやすい資料が教科書で、その内容をさらに詳しく調べられるのが資料集とし、教科書で調べ資料集で深めるようにしている。歴史的事象の起きた場所や時間については、地図帳や年表を使い確認している。また、調べ学習を時間内にできるだけスムーズに進めるために、教科書に準じた書き込みプリントを準備し、学習場面を読んでくるように取り組んでいる。

基礎基本の定着については、調べ学習や調べ学習後の発表ができるように支援をしていき、自信を持たせていきたい。また、人物の働きや歴史的事象について歴史につながりや関連性をもとに考えることについては、授業において、既習内容をもとに比べたり、考えたりできるようアドバイスをしていきたい。

3 単元の見目

【社会事象への関心・意欲・態度】

日本が戦争に突き進んでいった社会的背景や、戦争の様子、被害を受けたアジアの国々の様子について調べようとする。

【社会的な思考・判断】

日本が満州を支配しようとした目的や、戦争によってアジアの国々が受けた被害について考えるとともに、戦争の実態を知り、平和の大切さについて考えることができる。

【観察・資料活用の技能・表現】

戦争について資料を通して調べたり、その背景をおさえるために年表や地図などを活用し、目的に応じてまとめたり発表できる。

【社会的事象についての知識・理解】

戦争がアジアの人々や日本国民に悲惨な実態と苦しみをもたらしたこと、平和であることの意義について理解できる。

4 指導計画（6時間扱い）

小単元	時数	目 標	学 習 活 動	具体の評価規準
中国との戦争が始まる	1	日本と中国との戦争が、どのように始まり、どのように進んでいったのか、その背景や人々の動き、変化などがわかる。	<ul style="list-style-type: none"> 98ページの写真から、日本が満州に渡った人々のような暮らしをしていたか話し合う。 多くの人々が満州に渡った理由や、満州事変、日中戦争と戦いが広がっていった経緯を調べる。 	<p>知 日本が満州を支配しようとした目的についてノートにまとめることができる。</p>
アジア・太平洋に広がる戦争	1	中国との戦争がその後、アジア・太平洋へと広がっていったのか、その経過について調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 中国との戦争が拡大し、アジア・太平洋地域の国々とも戦争が開始されていたことを調べる。 戦争の経過について整理するとともに、日米の国力を比べながら戦争のゆくえについて話し合う。 戦争が広がり激しくなっていく中で、アジアの国々や人々の暮らしはどのようなようになっていったか考える。 	<p>知 戦争が拡大し、相手国や地域が広がっていったことをノートにまとめ地図で確認することができる。</p> <p>思 戦争によってアジアの国々が受けた被害について考えノートにまとめることができる。</p>
戦争中の子どもたちの暮らし	1	戦時中の子どもたちの暮らしの様子を調べ、子どもたちの関係について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 戦争中の子どもたちの暮らしの様子について調べる。 戦争中の子どもたちの様子から、当時の社会の状況について考える。 	<p>関 戦争中の人々の暮らしに関心を持ち、調べようとしている。</p> <p>思 戦争中の社会の状況の様子を考えノートまとめることができる。</p>
身近な地域と戦争	1	釜石艦砲射撃について調べ、地域の人々と戦争との関わりについて考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 艦砲射撃を受けた釜石市の被害について調べる。 釜石市の人々と戦争との関わりについてまとめる。 	<p>技 釜石艦砲射撃について調べて分かったことをノートにまとめることができる。</p>

戦争と国民生活の変化	1	戦争中の暮らしの様子や変化について考えることができる。 人々の暮らしの様子や変化について考えることができる。 戦争中の暮らしの様子や変化について考えることができる。	戦争中の暮らしの様子について調べる。 戦争が長引く中で、人々の暮らしがどのように変わっていったかとらえる。	関 戦争中の人々の暮らしに関心を持ち、調べようとしている。 思 戦争中の人々の暮らしの様子をとらえ、ノートにまとめることができる。
沖縄・広島・長崎、そして敗戦	1	沖縄戦や広島・長崎への被害の大きさや、戦争による被害の大きさについて調べる。 戦争によって日本国民、そしてアジアの人々に大きな被害が及ぼされたことをノートにまとめることができる。	敗戦にいたる経過を確認する。 1945年の沖縄戦や広島・長崎の被害の様子について調べる。 戦争が終わったことを知ったアジアの人々の気持ちを考える。 戦争について意見を書き、発表する。	関 敗戦にいたる経過を確認し、沖縄戦や広島・長崎への被害の大きさを調べようとしている。 知 戦争によって日本国民、そしてアジアの人々に大きな被害が及ぼされたことをノートにまとめることができる。

5 本時の学習

(1) 目標と具体的評価規準

目標	A 十分満足	B 概ね満足できる	指導を要する児童の手だて
敗戦にいたる経過を確認し、沖縄戦や広島・長崎への被害の大きさについて調べ、戦争による被害の大きさや戦争による被害の大きさについて調べる。 戦争によって日本国民、そしてアジアの人々に大きな被害が及ぼされたことをノートにまとめることができる。	関 敗戦にいたる経過を確認し、沖縄戦や広島・長崎への被害の大きさを調べ、その他、関係したことをメモしようとしている。 知 戦争によって日本国民、そしてアジアの人々に大きな被害が及ぼされたことをノートにまとめることができる。	関 敗戦にいたる経過を確認し、沖縄戦や広島・長崎への被害の大きさを調べようとしている。 知 戦争によって日本国民、そしてアジアの人々に大きな被害が及ぼされたことをノートにまとめることができる。	関 教科書や資料集の関連ページを確認し、被害の大きさを表す数字に着目させ、調べるようにする。 知 教科書や資料集の関連ページを確認し、被害の大きさを表す数字に着目させ、大きな被害が及ぼされたことをノートにまとめることができるようにする。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	教師の指導・援助	教具等	評価(方法)
導入	10分	1 予習プリントの解答をする。 2 玉音放送を聞き、敗戦したときの当時の人達の気持ちを予想する。	本時の学習内容の基本的事項を確認させる。 玉音放送を聞かせ、敗戦を知った当時の人達の気持ちを予想する中で、学習課題を把握させる。	予習プリント 玉音放送 ビデオテープ 体験者のお話	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 戦争は、どのようにして終わったのだろう。 </div>					
展開	25分	3 敗戦にいたる経過を確認し、被害の様子を調べる。 ・いつ、どこで、何があった ・沖縄戦での死者数 ・原子爆弾による被害 4 調べたことを発表しあい、まとめる。 沖縄(4月:アメリカ軍上陸) ・一般住民 3万9千人 ・戦闘に加わった人 5万5千人 ・防衛隊 2万8千人 ・日本の軍人 6万8千人 ・アメリカ軍 1万3千人 広島(8月6日:原爆投下) ・当時の人口 32万人 ・死者 20万人 ・全壊、全焼 6万2千戸 長崎(8月9日:原爆投下) ・当時の人口 21万人 ・死者 14万人 ・全壊、全焼 1万5千戸	必要となる教科書・資料集のページを確認する。 当時の写真と照らし合わせながら、被害の大きさを数字からつかませる。 原爆投下の映像を見ることで被害の様子を具体的につかませる。 アジア各地の被害について振り返り、中国や朝鮮・台湾をはじめアジアに人々の気持ちを考えさせる。 全体で発表しあう中で、その被害の大きさを認識させ、分かったことをノートに書かせる。	資料集 p 82~83 教科書 p 106 学習シート ビデオ ・原爆投下 資料集 p 80-81 地図帳	(関) 敗戦にいたる経過を確認し、沖縄戦や広島・長崎への原爆投下における被害の大きさを調べようとしている。 (観察) (知) 戦争によって日本国民、そしてアジアの国々の人々に大きな被害が及ぼされたことをノートにまとめることができる。 (ノート)
終末	10分	6 まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 戦争は、日本をはじめアジアの国々や全世界に大きな被害を出して終わった。 </div> 7 戦争について意見を書き、発表する。	これまで学習してきた戦争について、感想や疑問を書き、発表する中で、「二度と戦争をしてはいけない。」という気持ちを抱かせる。		

6 板書計画

玉音放送	戦争は、どのようにして終わったのだろう。											
<ul style="list-style-type: none"> ・ くやしい ・ 悲しい 	沖縄の被害の様子			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">アジアの人々</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ これで日本の侵略が終わる ・ 自由になれる 								
	県内の人一般住民	3万9千人	18万8千人									
	戦闘に加わった人	5万5千人										
	防衛軍	2万8千人										
日本の軍人	6万8千人											
ツイさんのお話	アメリカ軍	1万3千人										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 死ななくていい ・ 殺されずにすんだ ・ ほっとした ・ うれしい 	広島・長崎の被害の様子			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">戦争について</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二度と戦争をしてはいけない 								
		広島	長崎									
	当時の人口	32万人	21万人									
	死者(被爆5年以内)	20万人	14万人									
	焼けたりこわれたりした家(全壊・全焼)	6万2千戸	1万5千戸									
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding: 5px;">日本</td> <td style="padding: 5px;">310万人</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; padding: 0 10px;">}</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">大きな被害をだして終わった。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">アジア各地</td> <td style="padding: 5px;">2000万人</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">全世界</td> <td style="padding: 5px;">6000万人</td> </tr> </table>				日本	310万人	}	大きな被害をだして終わった。	アジア各地	2000万人	全世界	6000万人	
日本	310万人	}	大きな被害をだして終わった。									
アジア各地	2000万人											
全世界	6000万人											